

JET からの手紙

弘法大師が結んでくださった 日中の縁を引き継ぐ

愛媛県国際交流課 国際交流員
楼 韵姿 (ロウ・インツ)

2年前、私は北京で実施された JET プログラムの面接でこんなやりとりをしました。

面接官「趣味は何ですか？」

私「サイクリングです。」

面接官「しまなみ海道は知っていますか？」

私「はい、知っています。去年行きました。景色がきれいで、その美しさをもっと中国の人々に知らせたいです…」

愛媛と知らないうちに 縁を結んでいた

地方に赴任する国際交流員は、赴任で初めてそこに訪れる交流員が多いと思いますが、実は私は赴任する半年前、偶然にも将来の勤務地の前を通りかかりました。その時は、旅行で愛媛に来て、帰る前にちょうど県庁前を通り、見上げると入口の看板に愛媛県のイメージアップキャラクター「みきゃん」が微笑んでいました。「かわ

いい」と思って、思わず写真を撮りました。まさかここが半年後自分の働く場所だと、その時は全く思っていませんでした。私と愛媛の縁はここから始まりました。

せんせい 陝西省との交流 —しまなみ海道サイクリング

愛媛県といえば、甘酸っぱいみかんと日本最古の温泉—道後温泉を思い浮かべる人が多いでしょう。実は、愛媛県はそれのみならず、サイクリングロード「しまなみ海道」も有名です。「しまなみ海道」は「東洋のエーゲ海」と呼ばれる瀬戸内海に浮かぶ島々を結び、向かいの広島県とつながっています。「しまなみ海道」では、2年ごとに国際サイクリング大会「サイクリングしまなみ」が行われ、世界各地からのサイクリストが集結します。

愛媛県は中国陝西省と友好都市提携を結んでいます。かつて、四国出身の弘法大師空海が、唐の都西安に渡り、青龍寺で修業をした縁が今日までつながり、2015年に



愛媛県ゆるキャラ「ダークみきゃん」との写真



学校訪問で北京でのオリンピック・パラリンピックを紹介する場面

友好都市提携として実を結びました。「青龍寺」は四国八十八カ所霊場の第0番札所とも呼ばれ、多くの観光客に親しまれています。友好都市締結をきっかけに、愛媛県と陝西省は観光、文化、スポーツなど、幅広い分野で交流をしています。また、今年から介護技能実習生の受け入れが始まり、介護分野の交流も始まりました。私はこれらの交流を促進するため、翻訳や通訳の仕事をしています。中国の沿岸部にしか行ったことのない私は、この仕事をきっかけに、歴史ある陝西省を訪れる機会に恵まれました。

また今年度は、しまなみ海道において、「サイクリングしまなみ 2018」が開催され、陝西省からも参加者が来県しました。私は通訳および愛媛の案内者として同行し、30キロコースを走りました。爽やかな風に吹かれ、自分が一番得意な愛媛案内をしながら、ふと2年前JETの面接で聞かれた「しまなみ海道は知っていますか?」という質問を思い出しました。サイクリングが好きで、日本の地域の魅力をPRしたい私が、愛媛県の国際交流員として選ばれたことはまさに縁だと思います。

約1,200年前、弘法大師は日中友好の大使として、縁を結んでくださいました。今、国際交流員である私は、この大切な縁を引き継ぎ、交流を深めることこそ、大事な使命であると感じています。

愛媛県の CIR として —地域案内のプロを目指す

JET プログラムに申し込む際、希望配属先を「都市部」と「地方」から選ぶことができます。私は迷わず後者を選びました。私のいる松山市は地方といえども、住んでみたら、ほどよいにぎやかさと、コンパクトな町づくりに感心します。

愛媛県の国際交流課に所属する交流員の仕事の一つは観光PRです。愛媛の魅力を発信したり、商談会で通訳をしたり、国際線利用やインバウンドの促進に取り組んでいます。赴任する前は、留学や旅行で何回も日本に来たことがあったので、最初はインバウンドの仕事は簡単だろうと思いました。しかしそれは大きな間違いでした。中国で訪日旅行がブームとなっている近年、観光客はやはり東京や大阪に足を運びます。その後、いかに地方に誘致するかが大きな課題になります。

中国からの訪日客は、世代も幅広く、地域によって旅



陝西省訪問団の副知事表敬訪問での通訳
(奥左から2番目が筆者)

行の仕方が大きく違います。日本に興味があることは共通ですが、旅行にあたり心配していることが何なのか、アニメ派なのかドラマ派なのか、いろいろと情報を把握したうえでPRすることが大事だと学びました。また、中国とのつながり、ここでしか体験できないこと、季節ごとでしか見られない景色なども知っておいたほうがより効果的なインバウンド活動ができます。そして、通訳の仕事は、単なる語学力では足りません。仕事の背景を理解し、今までの経緯ややりとりをきちんと把握することが欠かせません。たくさん学び、たくさん調べ、積極的に調査に行き、リアルタイムな情報交換をします。地域の魅力発信のプロになるために。愛媛を知れば知るほど、ますます愛媛を好きになっています。

プロフィール



楼 韵姿 (ロウ・インツ)

中国上海市出身。大学で日本語を専攻し、3年生の時に札幌で1年間交換留学。卒業後約2年間日本語通信教育の仕事をした後、愛媛県国際交流員として勤務。

今は毎日松山城に登り、四季それぞれの美しさを発信している。新しいことに挑戦することが好きで、休日は街歩きやサイクリング、友だちとドライブで愛媛を中心に各地を回る。

JET LETTER

传承—弘法大师缔结下的中日友谊

楼 韵姿

一年前，在北京的 JET 项目面试中曾有过这么一段对话。

面试官：你的兴趣爱好是什么？

我：我喜欢骑行。

面试官：你知道“岛波海道”吗？

我：我知道，去年我刚去过。那里的景色很漂亮，如果能让更多的中国朋友领略那里的风光就好了…

在不知不觉中和这里结缘

在被派往小地方赴任的国际交流员里，相信赴任地对于不少交流员来说都是块未知的新大陆。而我却在来此赴任的半年前，偶然路过了自己将来的工作地。那时我来爱媛旅行，在离开前刚巧路过了县厅门口。抬头一看，门口有块大招牌，招牌上画着的爱媛县吉祥物“蜜柑小狗”正乐呵呵地微笑。“真可爱”，说着便拿出手机给它拍了张照。没想到这里竟是半年后自己工作地。

我和爱媛的缘分自此而始。

和陕西省的交流—岛波海道骑行大会

说起爱媛县的特色，很多人都会先想起橘子和日本最古老的道后温泉。其实爱媛的特色不仅在于这两点，自行车道“岛波海道”也是这里的著名景点之一。爱媛县北部靠着有“东方爱琴海”美誉的濑户内海，大小岛屿散布于此，“岛波海道”纵贯南北，串连起四国和本州。这里每两年会举行一次“岛波海道骑行大会”，届时来自世界各地的骑行爱好者将齐聚于此。

爱媛县和中国陕西省缔结为友好城市。爱媛县所在的四国，是“四国遍路”的创始人—弘法大师空海的诞生地。弘法大师曾飘洋过海，来到长安城，在那里的青龙寺修行。爱媛县和陕西省因此结缘。西安的“青龙寺”作为日后开创“四国遍路 88 寺”的弘法大师曾修行的第 0 番札所为人所知。爱媛县和陕西省在结为友城后，在观光、文化、体育等各领域进行了广泛交流。另，从今年起陕西省开始向爱媛县派遣养老看护方面的技能实习生，开始了新领域的交流。我在推进双方交流的工作中担任翻译口译工作。感谢这份缘分，让我有机会前往陕西省感受浓浓古韵。

今年的“岛波海道骑行大会”上我有幸担任了陕西省访问团的翻译及向导，并陪同访问团一起骑行三十公里。一边

吹着凉爽的海风，一边带着陕西省的朋友们领略爱媛魅力，我忽然回想起了两年前在北京面试的那一幕：你知道岛波海道吗？我想对于爱好骑行，并有志于推广日本地方魅力的我来说，被附上“爱媛县国际交流员”的使命是种莫大的缘分。

1200 年前弘法大师曾作为中日友好的大使结下中日友谊。今天作为国际交流员的我深感两国缘分之深，推进两国人民的交流意义非凡。

作为观光交流局的交流员，我要成为爱媛的专业向导！

报名国际交流员时，派遣地有“大都市”和“郊外·地方”两个选择。我毫不犹豫地选择了后者。在日本的地方城市—松山生活后，我感叹于这里的噪中有静和便捷的城市构造。

作为观光交流局的交流员，我的其中一项工作就是观光推广。如：介绍爱媛魅力、在商谈会上担任翻译、协助维持国际航班的运行及吸引国内游客前来。其实在来此工作前，我曾通过留学、旅行等方式来日本多次，因此对于这份工作一开始感觉很简单，但实际并不然。近年来赴日旅客虽有增多，但大家依旧往东京、大阪跑。如何吸引大家来地方小城是个课题。

中国面积广大，地区发展差异大，赴日旅客的年龄层次也多。虽然都对日本有兴趣，但关心的事情各不相同，在掌握好这一点的基础上再做宣传很重要。另外得熟知这里和中国有哪些方面的联系，只有爱媛才能体验的观光项目，只有在这个季节才看得到的美景，以及周边城市有哪些可以顺带去的地方，这样才能做更有效的宣传。翻译工作考验的不仅是语言能力，还考验对工作的理解度，因此在工作前先了解背景很重要。

为了成为爱媛的专业向导，我将继续学习调查，并做好和同事的及时沟通。对于爱媛，知道得越多，感情也变得越深。

个人简介——

出生于中国上海市。

日语系本科毕业，大三时曾作为交换生在札幌留学一年。毕业后在互联网教育行业工作近两年后，赴爱媛县担任国际交流员。

现在每天都会去爬松山城，向朋友们宣传那里四季各不相同的美景。喜欢挑战新鲜事物，休息日喜欢漫步各地，骑行，以及和朋友一起自驾，探索更多爱媛及日本的魅力。

中国語